

生駒での活用

集まった募金は、地域で行われるさまざまな福祉活動の支援のほか、コロナ禍での支援活動などにも活用されています。

生駒での使いみちの一部を紹介します。



集まれなくてもつながれる ～西地区民生児童委員協議会～

一人暮らし高齢者のかたとの交流会が中止となり、みんなで集まれないのであれば、ひとりひとりにお会いできないかと考え、熱中症の注意喚起のチラシやゴミ袋を個別に配布されました。

一人暮らし高齢者のかたの笑顔にふれることができ、充実した活動が行えたと、感謝のお言葉をいただいております。



コロナ禍での緊急食料支援 ～生駒市社会福祉協議会～

新型コロナウイルス感染症により経済状況が悪化し、生活に困っておられるかたに対して、年末年始を安心して過ごしていただけるように食料支援を行いました。約30世帯にお渡しすることができました。



ボランティア活動普及事業助成金 ～奈良北高等学校～

毎年あすかの保育園と交流を楽しみにしていましたが、園児と直接交流することが難しくなり、手作りのマグネットとメッセージカードをプレゼントしました。喜んでもらえるかなあと、園児さんの様子を想像して作りました。直接会えなくても、自分たちができることについて考える機会となりました。



福祉出前講座 ～生駒市社会福祉協議会～

市内の学校等でボランティアさんと共に車いすや手話体験などを実施しています。今年は、新型コロナウイルス感染症によって生まれる差別意識を取り上げ、共生社会に向けて児童のみなさんと一緒に考えていただく講座を壺分小学校で開催しました。